

回 右の資料は、関東7都県のはくさいの出荷量をまとめたものであり、次の文は、広志さんたちが数学の授業でこの資料について話し合ったときの会話の一部である。後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

広志さん：この資料の代表値としてどんな値を使えばいいかな。

優子さん：代表値には、平均値や<sup>(ア)</sup>中央値、最頻値があるって習ったよね。教科書には、平均値が代表値としてよく使われるってあったよ。

良男さん：でも、<sup>(イ)</sup>この資料の分布だと、平均値は代表値としてふさわしくないと思うよ。

- (1) 下線部(ア)について、この資料の中央値を求めなさい。
- (2) 下線部(イ)のようにいえるのはなぜか、この資料がもつ分布の特徴に着目して、説明しなさい。

はくさいの出荷量(平成28年)

都県名	出荷量(t)
茨城県	224400
栃木県	18600
群馬県	22300
埼玉県	14000
千葉県	6560
東京都	2840
神奈川県	3420

(農林水産省ホームページにより作成)

**【答】** (1) 14000 (t) (2) 茨城県の出荷量が他の都道府県の出荷量と比べて極端に大きいから。